

令和 5 年 12 月の市民の声（全 4 通のうち 4 通）

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇小児の時間外、救急外来受診について

【ご意見・ご提案など】

南魚沼市市民病院より小児科が無くなりしばらく経ちます。その間非常に不便だと感じたのが、夜間や土日祝日の子供の疾病、怪我です。

小児科のある、夜間土日祝日でも対応いただけるのは市内だと基幹病院だけです。しかし、厚労省のすすめる病院の機能分担の関係で紹介状が無い受診となれば「選定療養費」5,500円が発生します。受診する時点で、高度・専門医療が必要であるか否か？保護者では判断はつきませぬので、まず市民病院に連絡をします。すると小児と伝えた時点で看護師さんが畳み掛けるように「小児の医師がいない」「対応難しい」と言われ、基幹病院の受診を促されます。そして、先の選定療養費が請求されます。

小児の夜間の熱発は、どちらの家庭でも起こりうる事で、まして成人よりも頻度は高く、正直この部分で家計負担が非常に増えます。実際にお世話になっている基幹病院、選定療養費の支払いに不満があるのではありません。ただ基幹病院に「選択肢がなく受診せざるを得ない」状況なのが非常に不満です。三次救急の病院ですので、気軽には受診出来ないなと思いつつも選択肢が無いのです。

「南魚沼市」の経営する「南魚沼市市民病院」に小児科を再度戻していただけないでしょうか。ただでさえ、出生数の減少している南魚沼市です。小児の数が少ないので不要との判断なのではないでしょうか？

子育て世代に寄り添った地域医療とは思えません。どうぞご検討ください。

なお、市にこういった声が寄せられている事を他の市民の方にも知っていただきたく、ぜひ市民の声にも掲載をお願いします。ここ何ヶ月か、市民の声のサイトの更新がない様子です。

（令和 5 年 12 月 2 日）

【お返事】

市内の小児科診療については、魚沼基幹病院や小児クリニックでの専門診療に加え、一部診療所でも一次的な小児科診療を行っています。一方、南魚沼市民病院では発達障害などの特殊分野を診療するなど、医師確保が困難な分野について、各医療機関が役割分担をしながら診療を行っているところです。

小児科に限らず不足している診療科については、今後の医療需要を踏まえながら医師確保の検討をする必要があると考えています。

(担当：南魚沼市民病院 庶務課)

市ウェブサイト市政ポスト「主な寄せられた声」の更新は、月ごとに取りまとめて、翌々月に更新しています。同様に、各庁舎での掲示も行っています。ご理解をお願いします。

(担当：秘書広報課)

◇市民へのスキー場リフト券販売について

【ご意見・ご提案など】

南魚沼市に都内から移住してきた者です。市内スキー場のリフト券に関して質問です。

市民がスキー場をお得に楽しめるのは、子供のいるご家庭だけなのでしょうか？子供を持つことができない事情の家庭でも、IターンやUターンをして移住を決断した家庭に何か市民還元や南魚沼市を楽しめる方法があればと思い問い合わせさせていただきました。

スキー場も旅行客が少しずつ戻りつつありますが、リフト券の値上げ、食事所の過疎化、地元のウィンタースポーツ離れは問題と考えます。客足が増える、食事処も賑わう、全てが相乗効果たど思うのですが。どうぞよろしくお願いします。

(令和5年12月11日)

【お返事】

南魚沼市内スキー場共通リフト乗車証(以下、共通リフト券)は、発行元である市内スキー場で構成される南魚沼市スキー場協議会の御厚意のもと、青少年の心身の健全育成と将来的なス

キー人口の確保を目的として、市内の小・中学生及びその保護者などを対象に発行されています。

また、平成30年度からは「保護者」として小・中学生の両親に加え、同居している祖父母を含む合計3人までに対象範囲が拡大されました。近年は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰により市内スキー場事業者も多大な影響を受けており、今年度から共通リフト券についても料金の値上げをせざるを得ない状況となりました。

移住政策や市民還元として市民の方々からスキーなどを通じて市内産業を活性化いただくのは非常に重要なことでもあります。しかし、現時点で対象範囲を拡大することは市内スキー場事業者から理解を得ることが大変厳しい状況であると考えています。現在、各スキー場が発行しているシーズン券をご利用いただければ幸いです。

今後も、スキー産業や市内産業の状況を見ながら、共通リフト券の対象範囲の拡大を南魚沼市スキー場協議会へ要望してまいりますので、ご理解をお願いいたします。

(担当：商工観光課)

◇通学路へのグリーンベルト等の設置について

【ご意見・ご提案など】

要望しておりました「道路改修グリーンベルト」、早々に点々のマークを付けていただき8月頃にはグリーンベルトが新学期に向けてできるのだと喜んでおりました。子どもたちが安全に登校できると思っておりました。でも一向にグリーンベルトがひかれない。1日でも早く施行してもらいたい。

「通学路注意30」は警察署へ要望をお願いします。

(令和5年12月22日)

【お返事】

お問い合わせの箇所につきましては、現状の路側帯の幅員でグリーンベルト設置を行うと視覚的な効果が薄いことから、現在設置している外側線を車道側に再設置をし、路側帯の幅員を確保した上でグリーンベルト設置を予定しています。

また、幅員減少の標識につきましても設置を予定しています。

施工につきましては、市内で通学量の多い箇所から優先的に設置を行っているため今年度は難しい状況ですが、通学児童が安全に登校できるよう来年度の早期設置に向けて進めていますのでご理解をよろしくお願いいたします。

「通学路注意30」につきましては、警察と設置について協議を行います。

(担当：建設課 維持管理班)

◇関越道・六日町インター名称変更について

【ご意見・ご提案など】

南魚沼米インターと名前の変更ご提案。

検索ナビで都会からのインパクト抜群。インター直ぐに道の駅を新設し、米を題材にした食堂、地元名物食材フード店やイベントができ、食材土産を買いインター周りで観光客が滞留できる施設を作り、インパクトある「南魚沼米インター」の名称にして下さい。提案いたします。高速表示板変更は3億円かかります。経済効果10億～です。

(令和5年12月22日)

【お返事】

六日町インターチェンジ（以下 IC）の名称変更についてご提案をいただき、ありがとうございます。

高速道路の IC の名称は、所在する市町村名を使用することを基本に、同一市町村に複数の IC がある場合などには、当該の市町村名に方位、字名、隣接の著名な地域名をつけるなど、IC の所在地がより分かりやすくすることとし、現在の名称を継続することで混乱を与えると考えられる場合などには、名称の変更について地元自治体などと十分に協議し、対応することです。

地名と町の産物の名称が入った IC は、北海道の深川留萌自動車道の『北竜ひまわり IC』一箇所のみのようなようですが、『南魚沼米 IC』も不可能ではないということでしょう。

『小出 IC』が『魚沼 IC』に変更になることが決まりました。市の負担3億円、経済効果16億円とされています。現在のところ六日町 IC の名称変更の考えはありませんが、IC の名称変更が、どのくらい地域の経済や観光に恩恵をもたらすのか、

近隣の市として注目したいと思っています。

(担当：企画政策課 企画班)